

まえがき

地下空間研究委員会では、平成 7 年 12 月に第 1 回地下空間シンポジウムを開催して以来、今回で第 26 回目のシンポジウムを開催する運びとなりました。本シンポジウムのテーマは、「次世代に向けた持続性の高い社会形成」としています。令和 1 年から 2 年に発生した COVID-19 感染は瞬く間に世界中に拡大し、未だ渦中にある状況です。このような未知のハザードは人類の新たな驚異であり、世界中の人々が手探りでこれに立ち向かっております。一方、近年では異常気象による集中豪雨の多発による災害も増加し、自然ハザードの巨大化にも注視する必要があります。このように社会が受けるハザードの質や規模が変化する中、地下空間研究委員会では、早い段階から、様々な都市インフラ機能とハザードの関係に着目し、調査を進めてきました。

本シンポジウムでは、とくに COVID-19 渦中の人々の生活様式や経済活動の変化と都市インフラ機能の確保について、多岐にわたる議論を展開するものであります。とりわけ、令和元年度に土木学会賞(功績賞)を受賞された岸井隆幸先生からは、都市計画とコロナ禍の生活様式などについて基調講演を頂きます。また、ウイルス感染対策に著名な四柳宏先生、都市防災に見識をもたれる廣井悠先生、ならびに、都市交通施設を管理する徳永幸久氏、並川賢治氏をお迎えして、都市地下空間の機能とコロナ対策の現在と今後についてパネルディスカッションを行います。

基調講演・パネルディスカッションに先立ち、委員会報告として維持管理小委員会が調査した海外の鉄道トンネルの維持管理の現状報告会、ならびに地下空間の計画、心理、防災、維持管理、建設のそれぞれの分野ごとに論文発表会を開催いたします。今回は、4 編の査読付き論文が慎重な審査のもと採択され、また 20 編の一般投稿論文の発表がございます。各分野のセッションにおきましても、活発な討議がなされることと存じます。

なお、本シンポジウムは、リモートによる開催となっております。直接対面のシンポジウムとは異なりますが、参加される皆さま方と有意義な意見交換を期待しております。

最後に、土木学会 地下空間研究委員会主催「第 26 回地下空間シンポジウム」を開催するにあたり、ご多忙な中、論文をご投稿いただいた皆様、シンポジウムにご参加いただいた皆様に御礼を申し上げます。また、本シンポジウムの実行・運営に尽力された関係各位ならびに諸先輩方に感謝を申し上げます。

2021 年 1 月

公益社団法人 土木学会 地下空間研究委員会 委員長
金沢工業大学 教授 木村 定雄